
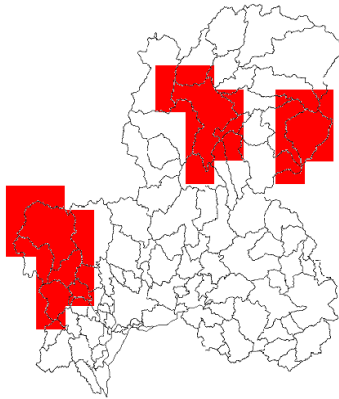


ハシドイ	<i>Syringa reticulata</i> (Blume) H.Hara	準絶滅危惧
		モクセイ科
選定理由	分布域の一部において生育条件が悪化しており、種の存続への圧迫が強まっていると判断される。	写真(奥田浩之)
形態の特徴	落葉小高木。樹皮は横に皮目があってサクラに似る。葉は広卵形～卵形で、裏面は短毛があって、特に主脈基部近くに多い。花は円錐花序に白花を多数つけ、芳香がある。葉裏がほとんど無毛なものをマンシュウハシドイ var. <i>amurensis</i> (Rupr.) Pringle という。	
生態的特徴	山地の林縁などに見られる。花期は6-7月。	 
分布状況	北海道、本州、四国、九州に分布する。岐阜県においては県北、県南西部に見られる。	
減少要因	本種の生育地は県内では石灰岩地という特殊な立地に生育する種でもあるため、もともと個体数も少ないが、生育地の周辺環境の悪化により減少している。	
保全対策	本種は樹林化がすすんで被圧されるようになると衰退していくため、草刈りや除伐など適度な人為的な管理を行い、日当たりのよい草地や疎らな低木林を維持する必要がある。	
特記事項		
参考文献	「日本の野生植物 木本Ⅱ」(佐竹義輔ほか(編), 1989年)	

文責: 奥田浩之